

補助事業番号：19-1-117

補助事業名：平成19年度交通安全思想の普及補助事業

補助事業車名：社団法人 日本交通福祉協会

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

交通安全思想の普及活動は、当法人の事業の目的の一つであるが、交通安全の意識や思想は一朝一夕で身につくものではなく、小さいときから日常生活を通してこれを身に付けさせる必要がある。子供の交通事故、特に自転車乗用中及び歩行中における子供の痛ましい交通事故を減少させるべく、ここ数十年來、政府の「家族総ぐるみ交通安全運動」の一環として広く、「我が家の交通安全」と題した作文を募集、表彰、文集作成、広報しているものである。この事業は前述の交通安全運動の原点ともいうべき「家族総ぐるみ交通安全運動」を全国的に推進し、子供達の交通事故を防止し、もって公益の増進に寄与することを目的とする。

(2) 実施内容等

平成19年7月2日に各都道府県教育委員会宛に「交通安全ファミリー作文」募集用のポスター及び応募要領チラシを配布し、管下の小・中学校に配布していただくよう依頼した。7月1日より応募作品を受付開始し、9月10日付消印をもって応募を締切り、その後集計作業に入る。応募総数は12,425通で小学生2,466通、中学生9,959通であった。集計の終わった作文について第一次予備審査によって、10月10日に各学年60通程度が選ばれた。10月11日第二次審査が始まり10月29日までに各学年8通を抽出した。平成19年11月20日内閣府特別会議室において、審査委員会を開催し最優秀作（内閣総理大臣賞）各部門1名 計2名、優秀作（内閣府特命担当大臣賞）各学年1名 計9名、佳作（内閣府政策統括官賞）各学年若干名 計44名、合計55名を選出した。審査会における最優秀作（内閣総理大臣賞）については、平成20年1月18日日比谷公会堂における「第48回交通安全国民運動中央大会」において賞状、副賞を付して表彰した。優秀作・佳作については賞状と副賞を受賞者の在籍学校長宛に送付し、それぞれの在籍校にて表彰していただくよう依頼した。上記55作品を一冊の文集に編纂刊行、「我が家の交通安全」というタイトルの文集を40,000冊作成し、交通安全対策の一環として、全国の小・中学校、都道府県教育委員会等に無償（寄贈）配布した。

2. 今後予想される事業実施効果

「我が家の交通安全」作文集を各都道府県の小・中学校における交通安全教育の教材として広く活用されるよう推進し、大勢の方にこの作品を公表することによって、子供達の視点から見る交通安全の意識を持ち、さらにこの作文事業が交通事故防止のための自助努力をする機会になると期待される。

3. 本事業により作成した印刷物

「我が家の交通安全」作文集 40,000 冊

4. 事業内容についての問い合わせ

団体名 : 社団法人 日本交通福祉協会
(ニホンコウツウフクシキョウカイ)
住 所 : 101-0021
東京都千代田区外神田 2-2-17
代表者名 : 会長 杉浦 力 (スギウラ ツトム)
担当部署 : 専務理事 (センムリジ)
担当者名 : 塩津 文夫 (シオツ フミオ)
電話番号 : 03-3255-2081
FAX : 03-3255-2084
E-mail : jtw@koutsufukushi.or.jp
URL : <http://www.koutsufukushi.or.jp/>